

淡路島で採集したアセタケ

名部みち代

採集日: 2013年7月8日
採集場所: 兵庫県南あわじ市松帆慶野
環境: クロマツ林内地上



肉眼的特徴

【傘】 径7-14mm, 半球形からまんじゅう形, 表面は毛羽だった鱗片におおわれ, 帯灰褐色

【肉】 淡褐色, 変色性はない,

【ヒダ】 直生, やや疎, 淡褐色のち帯灰褐色, 縁部は淡色

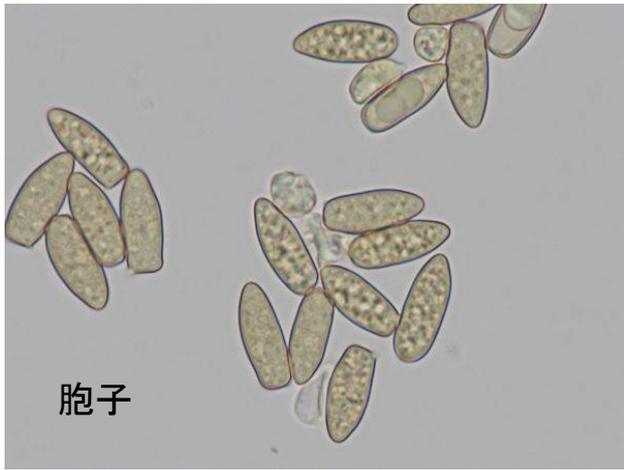
【柄】 20-30×2.5-4mm, 中実, 上下同径, 基部わずかに膨らむ, 表面は繊維状, ささくれ状鱗片におおわれ, 傘より淡色

縁シスチジア



ヒダ実質・子実層





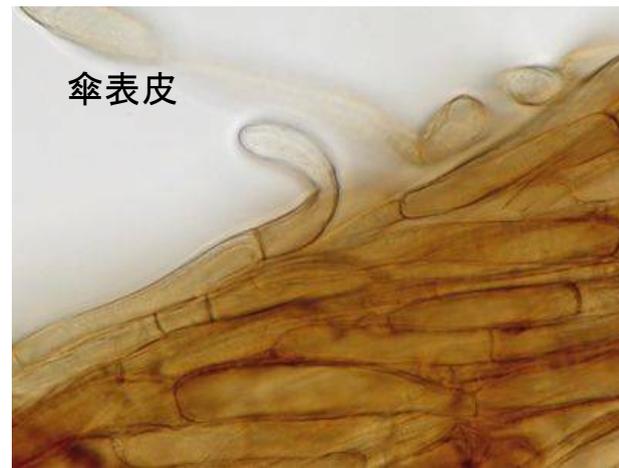
孢子



縁シスチジア



柄シスチジア



傘表皮

顕微鏡的特徴

【孢子】 11-13(-15) × 4-6 μm, 長楕円形でしばしば嘴状突起側の頂端が丸みをおびず切形, 平滑

【担子器】 35 × 11 μm内外, 4孢子性, 基部にクランプあり

【縁シスチジア】 24-58 × 11-19 μm, 類こん棒形ないし類紡錘形, 薄膜ないしわずかに厚膜, 無色, しばしば連鎖する

【側シスチジア】 なし

【傘表皮】 幅4-10 μmの糸状菌誌からなる平行菌糸被, しばしば束になって立ち上がり, 褐色の色素をもつ, クランプあり

【柄シスチジア】 頂部にのみ存在し, 類こん棒形～類紡錘形

【検索】

1) メチュロイドを欠き, 柄シスチジアは頂部のみ

2) 側シスチジアを欠く

3) 孢子は平滑で, こぶや針をもたない. 縁シスチジアは無色

→ アオアシアセタケ亜属

4) 縁シスチジアはしばしば連鎖する, 肉はややもろい

・頂端細胞は40 μmを超えるものがある

・ヒダはオリーブ色をおびない

→ ? マレンソントマヤタケ節でいいのか?

【コメント】

アオアシアセタケに似るが, 低地のクロマツ林に発生し, 柄に青みがなく, 肉に変色性もない. 孢子の形状が特徴的